第９７３号
日本ビル新聞
発行所
日本ビル新聞社
本　社：東京都新宿区西新宿７－19－15　小田切ビル４Ｆ　〒160-0023
TEL：(03)3361－0111(代)
FAX：(03)3361－4431
メールアドレス：
nhblnews@blue.ocn.ne.jp
発　行：毎月２回(第1・第3月曜日)
購読料：年間14,000円(送料共)
ビル管理の総合専門紙
◎ビルメンテナンス業界
関連業界：マンション管理・警備・貯水槽管理・ベストコントロール・ビルディング（オーナー）・ビル管理用資機材製造他

ヒューマンフェア「分科会」発表内容

ハイジェニックスフォーム クリーニングシステム 装栄㈱・ケミカル産業㈱

分科会で装栄（本社・大阪）が発表し、ケミカル産業（本社・山形）が開発した、ハイジェニックスフォームクリーニングシステム」とは、温浴施設の清掃に効果を上げる高発泡の洗浄装置と、汚れに応じて日替りで使える2種類の洗剤で構成したシステム。大規模浴場の清掃は重労働、汚れが複合化され落ちにくい、コストがかかりすぎ―、そういった現場の声やニーズに応えた。発表されたシステムの概要を紹介する。

高発泡システムで難題を解決

温泉王国・山形に本社を置くケミカル産業では、温浴施設における衛生管理の課題を解決するべく、卸売業の強みである情報を基に、4年半をかけて同システムの商品化を実現させた。

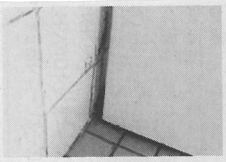
浴場の清掃作業は、①高温多湿の中で行う重労働②浴場の汚れはさまざま③排水溝は汚れが集中し、毎日清掃しても汚れが溜まる④人件費がかかりすぎるなど、現場から多くの不満の声や課題が上がっていた。また洗剤に関しても、①これまでの液体洗剤ではほとんどが流れてしまう②洗剤の種類も希釈も人によってバラつきがある③洗剤の効力があまりなく、力でこすってしまう④人によって仕上がりが違うなどの問題点があげられていた。

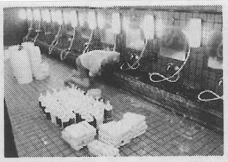
このほかにも、①レジオネラ属菌が心配②保健所から改善が求められている③床のヌメリで滑る④人件費がかかりすぎるなど、現場からの多くの不満の声や課題が上がっていた。また洗剤に関しても、①これまでの液体洗剤ではほとんどが流れてしまう②洗剤の種類も希釈も人によってバラつきがある③洗剤の効力があまりなく、力でこすってしまう④人によって仕上がりが違うなどの問題点があげられていた。

汚れの原因はさまざまであるが、衛生管理を怠ることが大きな要因である。汚れをエサとする微生物が繁殖し、温泉カビ、苔、ヌメリなども発生してくる。

同社では、浴室の汚れは皮脂とせっけんかすによるところが大きいと判断。それぞれの汚れは成分が異なるため1種類の洗剤では汚れを落とす効果が十分ではないとし、皮脂汚れを落とすアルカリ性の洗剤「スパクリーナーレッド」と、せっけんかす等に効く酸性の洗剤「スパクリーナーブルー」の2種類を開発した。日替りで使うことで高い洗浄効果を発揮する。希釈倍率は20～100倍。複合化された汚れも2種類の洗浄剤で除去できる。除菌剤配合。

さらに洗剤を発砲させるための洗浄装置「ハイジェニックスフォーマー」（噴射機）を開発。ノズルや洗剤の粘性に工夫を凝らし、洗剤を泡状に高噴射する。洗いたい部分に洗剤がとどまることで、汚れが分解され浮き上がり、強く擦る作業も軽減された。水道の圧力で可動し、電源が不要なため感電の心配もない。洗剤は水道圧を利用して自動希釈になる道具を使い、誰が希釈しても同じようにできあがるのも特徴。

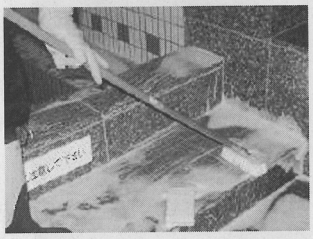

隙間にカビが付着する


浴場の汚れはさまざま

洗剤の種類や希釈もバラバラ

作業時間がかなりかかる。

①泡を吹き付ける


②汚れを浮かび上がらせて軽く擦る

③最後に水ですすぐ

ハイジェニックスフォーマー

人件費35％削減に成功

作業手順は、①準備＝蛇口にセットされた口金にホースセンド（接続器具）をセットする。同時に「ハイジェニックスフォーマー」の方にもホースセンドのついたホースをセットする②洗剤をまく＝「ハイジェニックスフォーマー」で壁や床など対象物に洗浄剤を吹きつける③軽くなでる＝最初に吹きつけてから5分以上放置し、ブランやスポンジで軽くこする④すすぐ＝「ハイジェニックスフォーマー」のハンドル部分を外すとガンの様になり、ハンドルを握って清水ですすぎ洗いする。

システム導入の効果は、某スーパー銭湯の場合、従来2時間の作業時間で13～14人の作業員が必要なところ、同システム導入により2時間で9人、約35％の人件費削減に成功した。

同社では温泉施設の洗浄システム（洗い場と浴場）を第1ステージ、第2ステージを配管洗浄、第3ステージを配管設備機器の開発として位置付け、温泉、スーパー銭湯、スポーツクラブ等の衛生管理を通して集客力の向上に役立つよう商品化していく方針だ。